

レコードテンプレートの操作

メタデータエディターで新しいレコードを作成する場合

ゼロから始めるのではなく、事前定義されたフィールドとコンテンツを含む

レコードテンプレートから始めることができます

このセッションでは、レコードテンプレートの操作方法と

レコードテンプレートを作成/編集する方法をご紹介します

テンプレートから新しいレコードを作成するには、[新規]をクリックします

ここから、レコードの基礎として使用するテンプレートを選択できます

その前に、「テンプレートの表示設定」で、どのテンプレートをこのメニューに

表示するかを設定できます

ここで、メニューに表示されているテンプレートを確認できます

マップと音楽用のMARC21テンプレートを追加しましょう

保存をクリックします。

[新規]メニューを開くと

テンプレートの1つを選択して、新しいレコードを作成できます

[図書]テンプレートを選択しましょう

私たちの新しいレコードにはすでに図書に典型的なMARCフィールドがすべて含まれていることがわかります

245と650を含み

サブフィールドコードもすでに設定されています

この場合

035フィールドの部分的な値を除いて、フィールドに値が入力されていません

ただし、一般に、テンプレートフィールドには、必要に応じて値を事前に入力できます

次のステップは、レコードの編集セッションでご紹介したように

レコードを編集して保存します

新しいレコードの作成に加えて

テンプレートは、既存のレコードを選択したテンプレートのフィールドで展開するために使用できます

レコードを編集用に開いた状態で、[編集アクション]>[テンプレートから展開]をクリックします

マップなどのテンプレートを選択します

「Applying Method（適用方法）」を選択します。

デフォルトでは、既存のフィールドを上書きしたり、重複するフィールドを追加したりすることなく、

現在不足しているフィールドのみがテンプレートから追加されます。

OKをクリックします

これで、マップテンプレートのフィールドでレコードが拡張されました

テンプレートを管理するには、テンプレートモジュールを開きます

レコードタイプを選択します

そのタイプのテンプレートがナビゲーションパネルに3つのフォルダに分けて表示されます

プライベートテンプレートはユーザーが作成し、ユーザーのみが利用できます

機関のユーザーは共有テンプレートを利用できます

機関アイコンがグレーになっている場合は、このテンプレートが初期設定のままで、編集できないことを意味します

機関アイコンに色が付いている場合は、機関の誰かが作成したもので

編集が可能であることを示しています

コミュニティテンプレートは、世界中のAlmaユーザーによって作成され

すべてのAlmaユーザーが利用できます

テンプレートを右クリックすると、そのテンプレートで使用可能なアクションが表示されます

このテンプレートから新しい記録を作成できます。

デフォルトに設定すると、このタイプの新規レコードのデフォルトテンプレートになります

現在、**MARC21**レコードのデフォルトのテンプレートは[図書]であることがわかります

[コミュニティゾーンへ投稿]は、このテンプレートのコピーをコミュニティゾーンフォルダーに配置し

すべての**Alma**ユーザーが利用できるようにします

権限に応じて、テンプレートを削除できます

[プロパティ]オプションから、テンプレート情報を表示できます

必要に応じて、名前や説明を編集したり

このテンプレートを共有フォルダとプライベートフォルダの間で移動させたり

デフォルトとして設定したりすることができます

テンプレートを編集するには、許可されている場合はそれをクリックします

レコードのように編集して、完了したら保存できます

新しいテンプレートを作成するには、既存のテンプレートを右クリックして複製します

名前とオプションの説明を入力します

共有するかプライベートにするかを選択し、[保存]をクリックします

テンプレートが追加され、必要に応じて編集できるようになっていることがわかります

これで既存レコードから新規テンプレートを作成できました

Almaでレコードを検索します

[レコードの編集]をクリックします

メタデータエディターでは、編集用にレコードが開かれます

[保存]メニューを開き、[テンプレートとして保存]をクリックします

テンプレート情報を入力し、[保存]をクリックします

そして[テンプレート]モジュールに戻ると

新しいテンプレートが編集可能になっているのがわかります

以上になります ありがとうございました